

## 【柔道整復科】 3つのポリシー

### 1. ディプロマ・ポリシー（卒業認定の方針）

柔道整復科では、建学の理念に基づき豊かな人間性、高い倫理観、感謝の心を持つ人材の育成を目指している。本学科では学則に定めた所定の単位を修得し、次の能力を備えた学生の卒業を認定する。

- ① 自ら高い目標を設定し、達成するために進んで物事に取り組む力を身につけている。
- ② 常に目の前の事象に問題意識を持ち、課題発見し解決策を提案する力を身につけている。
- ③ チームの目標に対して、他者と力を合わせて、問題を解決する力を身につけている。
- ④ 柔道整復師として必要な知識や技術および態度、それらを適切に実践できる能力や責任感、倫理観を涵養している。

### 2. カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

#### 【教育内容（各学科・各科目の特徴）】

柔道整復科では、建学の理念に基づき、豊かな人間性、高い倫理観、感謝の心を持ち、主体的に行動できる人材の育成と卒業認定の方針（ディプロマ・ポリシー）を達成するため、以下のようにカリキュラムを編成し講義を行う。

- ① 卒業認定の方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げる人材育成するため、柔道整復科で定められた教育課程の「基礎分野」「専門基礎分野」「専門分野」を体系的に編成する。
- ② 柔道整復師国家試験受験資格の他に NSCA—CPT（パーソナルトレーナー）資格の取得に必要な科目として、柔道整復師養成科目の他に、スポーツ栄養学、エクササイズ実習、パーソナルトレーニング、スポーツ栄養学などの科目を3年間で系統的に配置する。

#### 【授業方法（各学科・各科目の授業方法の特徴）】

- ① 講義、演習、実験、実習などを適切に組み合わせた授業方法で展開する。
- ② 講義形式だけでなく体験学習などアクティブ・ラーニングを取り入れる。
- ③ シラバスに授業目標、内容、方法及び評価方法を明確に示し、全ての授業科目に一般目標（GIO）と到達目標（SBOs）を定め、これらの目標達成により、学科の卒業認定を実現する。

#### 【学修成果の評価】

- ① 成績評価については柔道整復科の卒業認定の方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げた知識・技術・態度の達成度を評価する。

- ② シラバスに明示された成績評価方法によって、学習成果の評価を客観的かつ公正に行う。

### 3. アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針） ※学園共通

学校法人セムイ学園では、建学の理念に基づき豊かな人間性、高い倫理観、感謝の心を持つ人材の育成を目指しています。学科のカリキュラムを修得し、卒業時に求められる能力を達成するため、以下のような学生を受け入れます。入学選考は、様々な個性、能力等を有する人物を受け入れることができるよう、多様な選抜方法にて行います。

- ① 建学の理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある人。
- ② 社会に役立つ知識・技術・態度を修得し、社会に奉仕しようという意欲のある人。
- ③ 入学後の学びに必要な基礎学力を有する人。
- ④ 協調性や基礎的なコミュニケーション能力を有する人。